



一中だより

第3号
令和5年6月



学校教育目標：はつらつと心豊かにたくましく生きる力の育成

校長室から

先週 6/22～23 にかけて、中四国中学校長会研究大会に参加してきました。中四国の中学校の校長、約 1000 人が一堂に会し 4 年ぶりに山口県で開催されました。広島県で校長をしている大学時代の後輩に久しぶりに再会でき、研究大会の内容も勉強になりましたが、そうした出会いもあり貴重な体験をした 2 日間となりました。分科会では、「総合的な学習の時間」についての研究発表を聞いた後、9 名ほどの小グループに分かれそれぞれの学校が実践している内容について情報共有をしました。私も本校で取り組んでいる「ふるさとキャリア教育」について発表しました。

さて、学校では備北総体も終わり、1 学期の仕上げの時期になってきました。7 月 12 日からは保護者懇談も始まります。よろしくお願いします。

授業と評価について

学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。1 年生の保護者の方には、入学後一月でのアンケートとなり中学校での生活があまりよく分からない状態でのアンケートで回答しづらい質問項目もあったと思います。申し訳ありませんでした。このアンケートは 11 月と 2 月に同様にお尋ねします。さて、今回は日頃の授業がどのように展開され、その授業がどのように評価に結びつくのかについて少し触れてみたいと思います。

今回の学習指導要領の改訂で注目すべき点は、「指導と評価の一体化」という点です。そしてその評価の観点が次の三つになりました。『知識・技能』『思考・判断・表現』『主体的に学習に取り組む態度』の三つです。

『知識・技能』…今までの「知識・理解」と「技能」が統合されたものです。理解を伴った知識をもとに、他の場面でも応用できる知識や技能の習得状況を評価します。

『思考・判断・表現力』…自分の考えを表現させたり、問題解決的学習で最適な答えを思考・判断させたりする等の学習場面を通して評価をします。

『主体的に学習に取り組む態度』…「主体的に学習に取り組む態度」の評価については、①知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組を行おうとする側面と、②その粘り強い取組を行う中で、自らの学習を調整しようとする側面、という二つの側面から評価します。学習

の進め方について試行錯誤する等の調整をしながら学ぼうとしているかどうかという意思的な側面を評価します。適切に評価するためには児童生徒に学習のめあてや見通しを持たせたりその達成状況を振り返らせたりすることが必要です。

岡山県では、「授業 5」で授業をするよう指示が出ています。授業 5 とは①めあてを書くこと②個人思考の場面を作ること③ペアやグループでの思考場面を作ること④まとめをすること⑤振り返りをさせることの 5 つです。参観授業の時にそういった視点でも見ていただけると今回の学校便りの内容が分かるかと思います。

結論から言うと、保護者の皆さんが受けてこられた先生が説明することを聞いて板書をノートに写し問題を解くといった授業イメージとは全く違った形で授業が作られていくこととなります。ですから、定期テストでよい点が取れたからといってそれだけで評価はされず、一授業ごとの振り返りや単元ごとのテストで評価がなされます。ちなみに一中では、5 教科の定期テストは 3 年前からなくしています。下の図は、単元に入る前に生徒に見通しを持たせるため、この時間では「何を学ぶのか」、「何ができるようになれば良いのか」といった単元シートを用いて授業のガイダンスから始めています。これは 1 年生社会科の単元ガイダンスシートです。

単元名	社会 人類の登場から文明の発生へ			1年 組 番
				氏名:
ゴールの姿	人類の誕生から文明の発生、政治や宗教の影響について理解し、資料から歴史の共通点を読み取る技法を身に付け、なぜ人類が繁栄できたのか考察し表現することができる。			
単元を貫く問い	「なぜ私たち人類はここまで繁栄することができたのだろう。」			
単元の流れ 学習内容 学習活動	導入	○歴史の年代の表し方や時代区分にどんな種類があるか理解する。		
	①	○好きな歴史上の人物調べを通して、歴史の流れを大観しよう。		
	②	○今の私たちに至るまでに人類はどんな進化を遂げたかまとめることができる。		
	③	○「文明」とは何を指すのか理解を深める。		
	③	○古代文明の特徴を整理して、共通点を理解する。		
	④	○日本が弥生時代だった時に、なぜ中国では国を統一できたのか理解する。		
	⑤	○古代ギリシャ・ローマから政治が与える影響について理解する。		
	⑥	○三大宗教がなぜ広まり、人々の考えにどんな影響を与えたか理解する。		
終末	単元テスト			
評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	○人類の進化の過程、古代文明の特色や宗教について理解している。 ○古代文明の特徴の資料を関連付けて活用できる。 ○古代から人々の生活に政治と宗教が影響を与えていたことを理解している。	○資料を活用して、人類が繁栄した秘訣について考察し表現することができる。 ○古代文明の政治や宗教の様子から、古代社会の変化の様子を説明することができる。	○古代と現代の生活の違いを生かして、人類がなぜ繁栄できたのかについて説明しようとしている。 ○古代の政治と宗教について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。	
評価方法	まとめシート 授業での様子 (発言・取り組みの姿勢など) 単元テスト	まとめシート 授業での様子 (発言・取り組みの姿勢など) 単元テスト	まとめシート 振り返りシート 授業での様子 (発言・取り組みの姿勢など) 単元テスト	
観点別評価	A・B・C	A・B・C	A・B・C	
個人内評価				
自分で取り組んだ学習内容				